

【専門分野】

科目名	小児看護援助論	講師名	専任教員 (4) 非常勤講師 (8)	学 年	2	履 修 期	第2学期
単 位	1単位		岡山医療センター看護師 A (10)				
時間数	30時間		岡山医療センター看護師 B (2) 岡山医療センター看護師 C (6)				
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	健康障害を持つ小児各期の児および家族を理解し、症状や病態の経過に応じた看護が実践できるよう、アセスメントできる知識を身につける。また、知識を統合・発展させ、疾患の特徴と経過をふまえた看護を学ぶ。						
授業科目目標	1. 小児各期の健康障害を持つ児と家族の看護を実践するための看護について理解できる。						
授業計画	<p>1回：経過別看護・症状別看護（痙攣・疼痛）</p> <p>2～8回：小児特有の疾患をもつ児の看護（成長発達段階／経過）</p> <p>1) 糖尿病（学童期／慢性期の看護）</p> <p>2) 喘息（幼児期／急性期の看護）</p> <p>3) 川崎病（幼児期／急性期の看護）</p> <p>4) ファロー四徴症（乳児期／急性期の看護）</p> <p>5) 急性胃腸炎（幼児期／急性期の看護）</p> <p>6) ネフローゼ症候群（学童期／慢性期の看護）</p> <p>7) 外ソケイヘルニア（幼児期／急性回復期の看護）</p> <p>8) 口唇・口蓋裂（乳児期／急性回復期・周手術期の看護）</p> <p>9～10回：救急時の看護</p> <p>1) 救急蘇生法</p> <p>（1）小児の意識レベルの観察</p> <p>（2）緊急入院時の小児と家族への援助</p> <p>（3）救急処置を受ける小児と家族の不安の緩和</p> <p>2) 不慮の事故に伴う看護</p> <p>（1）事故外傷と虐待</p> <p>（2）誤飲</p> <p>（3）熱傷</p> <p>（4）溺水</p> <p>11～13回：小児の看護過程</p> <p>1) 白血病（幼児／終末期の看護）</p> <p>14回：新生児の看護</p> <p>1) 低出生体重児の看護</p> <p>2) 疾患を持つ新生児の看護（先天異常をもつ患者と家族の看護）</p> <p>3) NICUの機能と役割</p> <p>15回：終了試験</p>					講義 講義 講義 講義	
評価方法	筆記試験						
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院.</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論, 医学書院.</p>						
学生へのメッセージ	<p>他の領域や科目で学習した知識をもとに、小児の成長発達段階を関連させて理解して下さい。小児を尊重したかわり方や家族をも含めた看護の方法についても学び、実習での実践に活かすことを期待します。</p> <p>【関連科目】 共通基本技術Ⅲ、臨床看護総論、小児看護学概論、小児健康論、母性看護援助論</p> <p>※「災害時の小児と家族のストレスと援助」は、災害看護と国際看護及び精神看護学概論に含む。</p>						